



前田歯科 前田亨先生

以前からモニタは持っていましたが、インプラントの手術に使用するぐらいで、使用頻度が低かったのが実情でした。

治療名人は従来のモニタとは異なり、数字がビジュアルで見られる、危険傾向がわかる・・・これは画期的なことです。

現在では、高齢者に限らず全て局所麻酔を使用するすべての症例に治療名人を使用します。私自身も安心ですが、患者様も、そして小児の場合は付き添いのお母さんも安心されます。「ここまでやってくれる。安心できる・・・」と。

麻酔を行なう時には、治療前に、スタッフが同意書にサインをいただきます。リスクを説明すると同時に、偶発症を起こさないようにするためにこのようなモニタを装着すること、起きてしまった時どうするのかを説明します。私達は何をするのかということを隠さず全て話すという姿勢が重要だと考えています。患者様からは「安心ですね。今まで何もなくよかった。」というお声を頂いています。

そして治療後には、スタッフが「治療名人」リプレイ画面で、モニタリングの結果と注意事項を患者様へお伝えします。

今では「治療名人」なしでは考えられないと思うぐらい活用しています。

前田歯科

ISO9001 を取得されている。スタッフが元気で明るく、医療安全を常に意識している。患者様とのコミュニケーションを心掛けており、歯磨き道場は第二カウンセリングルームとして作ったとのこと。ネーミングが楽しい。



はみがき道場

〒121-0076 東京都足立区平野1-23-13
<http://www.maedashika.com/>

治療後にスタッフが「治療名人」リプレイ画面で説明

局所麻酔を使用するときは・・・

治療前 同意書にサイン



リスクを説明すると同時にモニタを装着する意義を説明

局所麻酔時は全て治療名人を活用 治療前のモニタリング



小児の場合はお母さんが安心されるという

治療中 治療の合間に目視で確認



数字がビジュアルでみられるので瞬時に判断可能

治療後 モニタリングの結果をスタッフが説明

